

看護・医学事典 第7版[増補版]

監修：井部俊子・箕輪良行／医学書院

定価：本体 5000 円＋税／TEL：03-3817-5600

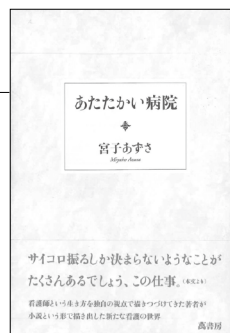
●「日本人の食事摂取基準」や「DSM-5」の刊行などの基準変向を受けた増補版。医療現場でナースが耳にし、多用する医学用語を簡潔に記述。次々に登場する新薬については、大枠が理解できるよう作用機序に基づく用語を充実。収録語数は約 1 万 6000 語、図表も約 340 点。主要な疾患・検査・薬剤を網羅するとともに、よく用いられる看護診断名は用語解説も含めて収録。主な略語や記号は冒頭に配列し、その場で即チェック可能！看護学生・看護師必携。

あたたかい病院

著：宮子あずさ／萬書房

定価：本体 1800 円＋税／TEL：045-431-4423

●小誌連載中の宮子あずささんの小説第三弾。架空の病院、ももやま総合病院で働く看護師たちの奮闘記。認知症患者の「ある絶叫」に怒鳴ってしまったり、勤務表の譲り合いでもめたり、親子問題へつい立ち入ってしまった。看護師たちの人生観や立場はバラバラだけど、それでもみんな、看護師として働いて生きることを決めた人たち。「看護とは選択することそのもの」という作者の哲学が込められた一冊。



ジョージの物語

小さな女の子の死が医療にもたらした大きな変化

レル・キング／訳：奥田昌子・高山真由美／英治出版

定価：本体 1800 円＋税／TEL：03-5773-0193

●2001 年、世界トップクラスの病院で治療を受け、退院間近だった 1 歳半の娘、ジョージ。突然の医療事故、病院との対立、悲嘆のなかでの家族の消耗。母親であるソレルの、「アメリカじゅうのすべての病院にジョージの名前と、あの子がどうして亡くなったかを知ってほしい。そして病院関係者全員に何かを学んでほしい」(本文より)との思いが、アメリカ医療界を動かした。本書は、その再生の物語。

話し下手でも大丈夫！

感じのいい会話ができる、ちょっとした雑談術

著：武藤清栄／PHP 研究所

定価：本体 880 円＋税／TEL：03-3239-6233

●「初対面でも、面白いことを言えなくても、この『ひと言』があれば、もう怖くない!!」(表紙の言葉より)。そう、本書は話し下手の人たちに、「感じのいい」話しかけ方、伝え方、会話の楽しみ方を伝授する「雑談術」の本。人と話すのが苦手、何を話したらいいかという引っ込み思案になってしまう人の抱える 55 個の疑問や不安に答え、自らつくっているコミュニケーションの壁を乗り越えようと語りかける。



訂正とお詫び

弊誌 56 巻 4 号 347 ページの、「新刊案内」にてご紹介しました「ジョージの物語 小さな女の子の死が医療にもたらした大きな変化」につき、著者の名前が誤っておりました。正しくは、“ソレル・キング”です。

ここに訂正し、お詫びいたします。

『看護教育』編集室